

緑の国際ボランティア研修(2015年度)

本研修は、国際緑化活動の重要性や緑の募金が果たす役割について研修員の理解を深めることを目指して、フィリピン国レイテ島において実施するものです。研修員はカウンターパート（現地大学生ら）とともに、レインフォレストーションの手法を用いた植林事業地を視察するとともに、実際に植林活動に参加します。併せて、現地住民との交流や専門家による現地の森林環境やレインフォレストーションに関する講義を通して、開発行為と自然環境との調和を目指した緑化活動や森林保全の重要性について理解を深めていきます。また研修期間中、国境や文化を超えた人々とのつながりを深め、日本と異なる気候・環境に触れ、国際的な視野を広げていきます。これらの活動の中で植林を通じた持続可能な発展について、カウンターパートと議論を深め、「緑化を通じた持続可能な発展のための日・比若者シンポジウム」に出席し、森林保全に向けたアイデアを発表します。

【スケジュール（予定）】

- 3/22 成田発、フィリピン国セブ島へ空路移動、現地集合*
 3/23 セブ島からレイテ島へ船移動、ビサヤ州立大学到着
 　　カウンターパート（現地大学生ら）と合流
 　　ハイヤン台風・レインフォレストーションに関する講義
 　　大学キャンパス内苗床施設・レインフォレストーションの視察等
 　　カウンターパートおよび現地インストラクターらとの交流会
 3/24 レインフォレストーション植林事業地の視察
 　　カウンターパートとのディスカッション
 　　シンポジウムでのグループ発表の準備開始
 3/25 環境修復保全機構による台風被災地域における復興植林活動の視察
 　　地域住民へのインタビューによる森林保全等の意識調査の実施
 3/26 カウンターパートとともにレイテ島内台風被災地・復興地等の視察
 　　現地森林保全グループとの交流・インタビュー
 3/27 レインフォレストーション植林事業計画地の視察、シンポジウム開催の準備
 3/28 「緑化を通じた持続可能な発展のための日・比若者シンポジウム」への参加・
 　　グループ発表、ビサヤ州立大学キャンパスマナー
 3/29 現地学生との送別会、研修修了式
 　　セブ島へ移動
 3/30 セブ島発、成田へ空路移動、現地解散*
 　　成田着（午後）

* 現地集合・現地解散となりますが、随行スタッフが研修生の渡航便に同行します。

期間：2016年3月22日(火)～2016年3月30日(水)

定員：10名

費用：80,000円（渡航費含む）

* 詳細はホームページに記載

応募資格：国際緑化協力に関心があり、NGO活動などに興味のある方など

締切：2015年12月10日(木)必着

応募方法：ホームページ(www.erecon.jp)をご確認の上、必要書類をメール・郵送にてご提出下さい。



実施者

主催：公益社団法人 国土緑化推進機構
 (<http://www.green.or.jp>)

共催：特定非営利活動法人 環境修復保全機構
 (<http://www.erecon.jp>)

お問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (ERECON)

担当：三輪・上野

住所：〒195-0064 東京町田市小野路町2987-1

Tel：042-736-8972 Fax：042-736-8972

E-mail：hq-erecon@nifty.com

一緑の国際ボランティア研修の主な概要一



<レインフォレストーションとは>

フィリピン国レイテ島において、特定非営利活動法人環境修復保全機構は2014年よりビサヤ州立大学の協力を得てレインフォレストーションの手法を用いて植林事業を実施してきました。レインフォレストーション（Rainforestation）とは「Rainforest（熱帯雨林）」と「Reforestation（植林）」を合わせた造語です。熱帯地方の植生に合った樹木を地域のニーズに合わせて植林し、その地域の森林と人々が持続可能なエコシステムを構築することを目指します。それは環境・生態系の保全だけでなく、人々の生計手段の向上を目指した持続可能な緑化活動を推進する手法です。

<レイテ島における緑化活動の必要性>

フィリピン国レイテ州では過去100年余りの間、大規模かつ無計画な森林伐採が行われてきました。その影響は現在進行中の気候変動に伴って、自然災害の強大化と頻発化を導いていると言われています。レイテは1991年の大洪水や2013年の記録的な巨大台風（ハイヤン台風）により壊滅的な被害を受けました。その他、降雨に伴って土砂災害等も頻発化しています。しかし、多くの現地住民は貧困のために十分な教育を受けておらず、緑化や森林保全の重要性を理解している人は少ない状況です。今後の持続可能な社会の構築のために緑化活動の必要性は高まっています。



研修中は、現地大学生らがカウンターパートとして随行します。カウンターパートとともに様々な活動や議論を通して、研修員は持続可能な発展を目指した緑化活動の重要性について、理解を深めるとともに新しいアイディアを構築してもらいます。

それらのアイディアをビサヤ州立大学で開催される「緑化を通じた持続可能な発展のための日・比若者シンポジウム（Japan-Philippines Youth Symposium on Sustainable Development through Reforestation）」において、カウンターパートと共に発表します。本研修を通して、国際環境協力に必要な素養を身に付けられます。

… 主催・共催団体紹介 …



公益社団法人
国土緑化推進機構（NALAPO）

公益社団法人国土緑化推進機構は、国土緑化運動を推進することにより、森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化をはかり、もっと心豊かな国民生活の実現、日本の文化的発展、さらには地球環境の保全に寄与すること及び国際貢献を目的としています。緑の国際ボランティアでは、青少年が緑の募金国際協力事業地のワーキングツアーに参加し、将来、国際緑地協力の場で活躍できる見識豊かな国際ボランティアを養成することを目的としています。（<http://www.green.or.jp/> 参照）



特定非営利活動法人
環境修復保全機構（ERECON）

特定非営利活動法人環境修復保全機構は、タイ、カンボジア、フィリピンを中心にアジア諸国における「農業的・都市的開発と自然環境との調和」を目指した環境修復保全に取り組んでいます。また、環境教育啓蒙の活動を通して、現地の人々が自然资源を持続的に利用していくことを目的として活動しています。主に、アグロフォレストリーの導入等による環境修復保全、塩類土壤地域における持続可能な農業生産環境の構築、アンダマン海沿岸における津波被災地の修復保全、土壤保全および持続的農業の推進等の活動を実施しています。（<http://www.erecon.jp/> 参照）